



2022年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年6月13日

上場会社名 REVOLUTION

上場取引所 東

コード番号 8894 URL <https://revolution.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ジョン・フー

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 津野 浩志

TEL 083-229-8894

四半期報告書提出予定日 2022年6月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年10月期第2四半期の連結業績(2021年11月1日～2022年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期第2四半期	422	28.9	110		98		139	
2021年10月期第2四半期	594		170		190		163	

(注) 包括利益 2022年10月期第2四半期 107百万円 (%) 2021年10月期第2四半期 162百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年10月期第2四半期	0.35	
2021年10月期第2四半期	0.52	0.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年10月期第2四半期	2,614	1,551	59.3	3.88
2021年10月期	2,199	1,659	75.4	4.15

(参考) 自己資本 2022年10月期第2四半期 1,551百万円 2021年10月期 1,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年10月期		0.00		0.00	0.00
2022年10月期		0.00			
2022年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年10月期の連結業績予想(2021年11月1日～2022年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,981	81.7	23		9	96.3	26		0.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年10月期2Q	400,000,510 株	2021年10月期	400,000,510 株
期末自己株式数	2022年10月期2Q	4,261 株	2021年10月期	4,161 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年10月期2Q	399,996,249 株	2021年10月期2Q	313,888,074 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が依然として経済活動に影響を及ぼしておりますが、ワクチン接種の促進等により景気は徐々に持ち直しつつあります。しかしながら、ロシア・ウクライナによる紛争や原油価格高騰、原材料の高騰等により経済状況は非常に厳しく、引き続き不透明な状況が継続しております。

当社グループに係る不動産業界及び投資業界においても、新型コロナウイルス感染症や紛争問題等による経済への影響が懸念されており、先行きは不透明な状況です。

このような状況下、不動産事業においては、「住」を支える企業として感染症対策を施しながら積極的な営業活動を行いました。また、保有する自社物件を売却する方針を決定しました。投資事業においては、保有する上場会社新株予約権の行使及び市場での売却を進めたこと、上場会社の親会社が発行する社債を取得し利息を売上計上したこと、投資したファンド案件の一部償還を受けたことが寄与しました。また、前年から継続となりますが本業として継続的に営む予定はないスポットな事業として、いわゆる兄弟会社から業務の委託を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は4億2千2百万円（前年同四半期比28.9%減）、営業損失は1億1千万円（前年同四半期は営業利益1億7千万円）、経常損失は9千8百万円（前年同四半期は経常利益1億9千万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億3千9百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億6千3百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産の売買、売買仲介については、中古住宅を中心に契約、引き渡しを進めました。また、当社の収益物件は高稼働しており安定的に家賃収入を得ております。新型コロナウイルス感染症の拡大はあるものの必要なお客様へ住居の斡旋・提供を進めております。なお、経営資源の集中による効率化をはかるため、下関市内2店舗を1店舗に統合することを決定いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億7千1百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は3千1百万円（前年同四半期比57.9%減）となりました。

② 投資事業

当第2四半期連結会計期間において、東証スタンダードに上場する燦キャピタルマネージメント㈱が発行する第三者割当増資を引き受けました。これまでの投資実績は6社8件です。そのうち、㈱フルッタフルッタに関しては新株予約権を適宜行使し、市場の動向を鑑みながら売却を進めており、スタンダード市場に上場する株式会社レッド・プラネット・ジャパンの親会社が発行する社債（以下「RP社債」という）については利息を、投資したJAPAN ALLOCATION FUND SPC, Segregated Portfolio Bから投資した一部の償還を受けたことによる利益をそれぞれ売上として計上いたしました。なお、RP社債については、本報告書提出日時点で償還期限が到来しているものの償還が実行されておりませんが、担保価値が十分あるため本件社債の価値が棄損することはないと判断しております。金地金寄託事業は、寄託内容や業者との提携検討等の準備を完了し、営業活動をスタートいたしました。また、投資運用業、投資助言代理業開始に向け、関東財務局に対して申請手続きを行い、質疑応答を進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5千万円（前年同四半期比77.4%減）、営業利益は1千5百万円（前年同四半期比92.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は25億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億3千7百万円増加しました。販売用不動産の増加10億9千8百万円、営業投資有価証券の増加8億3千8百万円が主な要因であります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億2千万円減少しました。保有目的の変更に伴う土地の減少5億7千7百万円、建物及び構築物の減少5億4千9百万円が主な要因であります。

③ 繰延資産

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産は0.8百万円となり、前連結会計年度末に比べて2百万円減少しました。株式交付費の減少2百万円が要因であります。

④ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億3百万円増加しました。短期借入金の増加9千9百万円が主な要因であります。

⑤ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は6億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億1千9百万円増加しました。長期借入金の増加3億9千6百万円が主な要因であります。

⑥ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は15億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億7百万円減少しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は26億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億1千4百万円増加しました。

⑦ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2億6千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは9億2千7百万円の支出となりました。これは、主として営業投資有価証券の増加による7億8千7百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは2千8百万円の支出となりました。これは、主として敷金及び保証金の差入による支出1千3百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは4億9千5百万円の収入となりました。これは、主として長期借入れによる収入4億円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえて、2021年12月14日付の「2022年10月期決算短信（日本基準）（連結）」で公表した2022年10月期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日別途公表いたしました「2022年10月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	626,194	240,718
営業未収入金	13,050	23,862
営業投資有価証券	117,236	955,237
商品	311	563
販売用不動産	65,602	1,163,924
未成工事支出金	6,975	4,275
その他	155,477	136,122
貸倒引当金	△251	△2,833
流動資産合計	984,597	2,521,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	558,594	8,936
車両運搬具(純額)	3,877	1,084
工具、器具及び備品(純額)	9,940	7,968
土地	577,113	-
有形固定資産合計	1,149,525	17,989
無形固定資産		
ソフトウェア	6,293	5,132
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	10,559	9,398
投資その他の資産		
投資有価証券	8,424	7,776
出資金	950	950
破産更生債権等	206,679	208,184
敷金及び保証金	42,200	55,459
貸倒引当金	△206,679	△208,184
投資その他の資産合計	51,574	64,185
固定資産合計	1,211,659	91,573
繰延資産		
株式交付費	3,530	882
繰延資産合計	3,530	882
資産合計	2,199,788	2,614,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年4月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	17,934	27,069
短期借入金	-	99,195
1年内返済予定の長期借入金	8,628	8,032
未払金	10,847	5,294
未払法人税等	-	246
借入有価証券	49,834	40,774
預り金	98,833	96,651
賞与引当金	9,330	9,730
前受収益	51,966	39,658
その他	38,255	62,067
流動負債合計	285,629	388,720
固定負債		
長期借入金	177,446	574,081
退職給付に係る負債	18,561	20,096
長期預り敷金保証金	56,421	59,710
その他	2,576	20,260
固定負債合計	255,006	674,149
負債合計	540,636	1,062,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,511,355	1,511,355
利益剰余金	44,582	△95,149
自己株式	△1,969	△1,971
株主資本合計	1,653,967	1,514,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,183	37,221
その他の包括利益累計額合計	5,183	37,221
純資産合計	1,659,151	1,551,456
負債純資産合計	2,199,788	2,614,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)
売上高	594,647	422,645
売上原価	254,540	322,939
売上総利益	340,106	99,706
販売費及び一般管理費	169,650	210,363
営業利益又は営業損失(△)	170,456	△110,656
営業外収益		
受取利息	1	6
貸倒引当金戻入額	185	29
業務受託収入	64,111	57,000
その他	1,218	2,647
営業外収益合計	65,516	59,683
営業外費用		
支払利息	2,558	2,846
業務受託費用	39,512	39,646
株式交付費償却	2,647	2,647
その他	433	2,164
営業外費用合計	45,153	47,305
経常利益又は経常損失(△)	190,819	△98,278
特別損失		
固定資産除却損	0	-
減損損失	-	41,207
特別損失合計	0	41,207
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	190,819	△139,485
法人税、住民税及び事業税	27,511	246
法人税等合計	27,511	246
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163,307	△139,732
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	163,307	△139,732

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	163,307	△139,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△525	32,037
その他の包括利益合計	△525	32,037
四半期包括利益	162,781	△107,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,781	△107,694
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	190,819	△139,485
減損損失	-	41,207
減価償却費	16,485	17,576
株式交付費償却	2,647	2,647
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△185	4,086
賞与引当金の増減額(△は減少)	△520	400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,315	1,535
受取利息及び受取配当金	△1	△6
支払利息	2,558	2,846
固定資産除却損	0	-
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△22,900	△787,803
借入有価証券の増減額(△は減少)	20,710	△9,059
売上債権の増減額(△は増加)	5,244	△10,811
棚卸資産の増減額(△は増加)	△63,239	△10,192
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,765	9,134
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	7,430	3,288
前受収益の増減額(△は減少)	△37,487	△12,308
その他	△7,826	△31,043
小計	108,654	△917,987
利息及び配当金の受取額	1	6
利息の支払額	△2,618	△2,916
法人税等の支払額	△1,925	△6,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,113	△927,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,196	△11,767
無形固定資産の取得による支出	△3,386	-
投資有価証券の取得による支出	△20,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△1,800	△13,258
その他	-	△3,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,383	△28,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	99,195
長期借入れによる収入	190,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△190,193	△3,960
自己株式の取得による支出	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194	495,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,535	△460,253
現金及び現金同等物の期首残高	480,412	729,167
現金及び現金同等物の四半期末残高	552,947	268,913

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業			
売上高					
外部顧客への売上高	370,231	224,416	594,647	-	594,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	370,231	224,416	594,647	-	594,647
セグメント利益	97,293	205,383	302,676	△132,220	170,456

(注) 1 セグメント利益の調整額△132,220千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	210,316	-	210,316	-	210,316
その他の収益(注) 3	161,569	50,759	212,329	-	212,329
外部顧客への売上高	371,886	50,759	422,645	-	422,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	371,886	50,759	422,645	-	422,645
セグメント利益	31,267	15,477	46,745	△157,402	△110,656

(注) 1 セグメント利益の調整額△157,402千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、保有する固定資産の保有方針を変更したため、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において41,207千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、報告セグメントの売上高の測定方法を同様に變更しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。